

<第113回調査>

2018年10月29日

【本調査の目的】

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施していましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

【調査実施期間】

2018年10月16日(火)13:00~2018年10月23日(火)13:00
※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

【調査対象】

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層

【調査方法】

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。
今回の有効回答数は374件。
※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

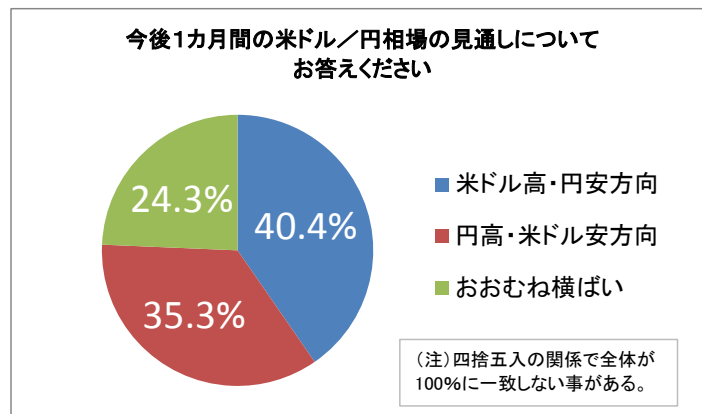
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【第113回調査結果略報：米中間選挙に対する見方分かれる】

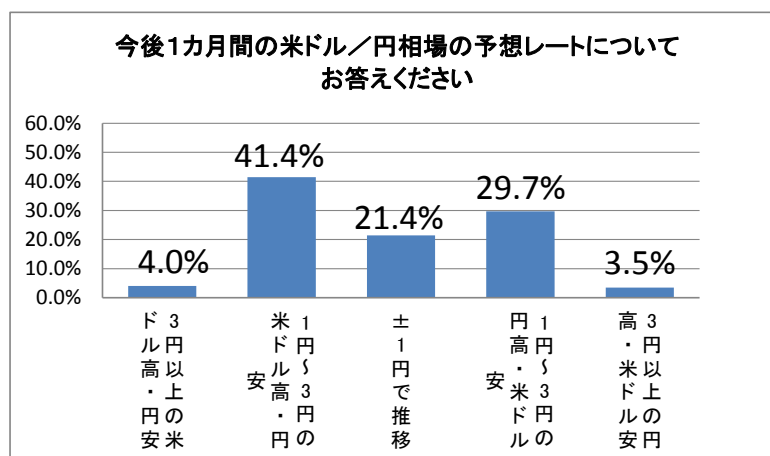
問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の見通し」については、「米ドル高・円安方向」と答えた割合が40.4%であったのに対し「円高・米ドル安方向」と答えた割合は35.3%であった。この結果「米ドル/円予想DI」は△5.1%ポイントとなり、8カ月連続で強気見通しを示すプラス圏を維持したが、プラス幅は前回(△17.8%ポイント)から縮小した。調査期間中の米ドル/円は、111円台後半から112円台後半の狭いレンジではあったが底堅く推移した。とはいえ、主要国の株価が不安定な値動きを続ける中で、米ドル/円相場に対する強気見通しにも陰りが見え始めたようだ。なお、「円高・米ドル安方向」と予想した割合が前回の24.8%から35.3%に大きく増加したのが印象的だ。※過去の米ドル/円予想DIの推移はP7-8に掲載。



問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

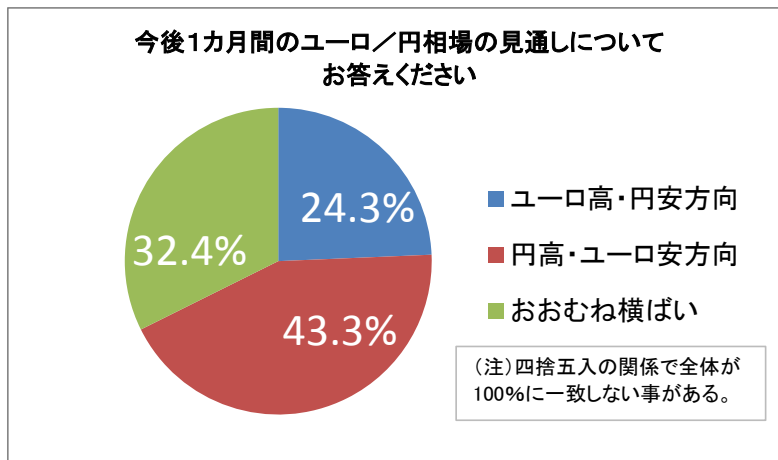
「今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「1円～3円の米ドル高・円安」が41.4%と最も多く、「1円～3円の円高・米ドル安(29.7%)」、「±1円で推移(21.4%)」と続き、以下「3円以上の米ドル高・円安(4.0%)」、「3円以上の円高・米ドル安(3.5%)」という結果になった。ヒストグラムの形状はやや米ドル高・円安方向に傾いているものの、「±1円で推移」を中心に概ね左右の均衡が取れている。「±1円で推移」の割合が低下(前回:36.7%)している点から、先行きの見通しに脆弱感が対立し始めたようにも見える。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

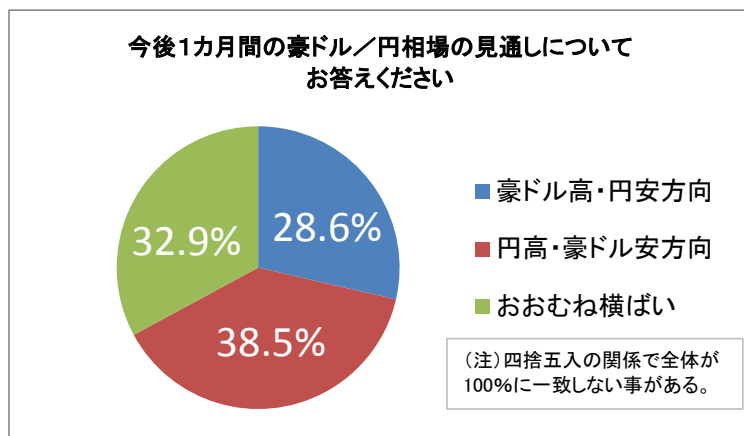
問3: 今後1カ月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が24.3%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合は43.3%であった。この結果、「ユーロ/円予想DI」は▼19.0%ポイントとなり、3カ月続けてマイナスDIを記録。マイナス幅は前回(▼1.5%ポイント)から拡大した。調査期間中のユーロ/円相場は128円台前半から130円台前半のレンジを方向感なく推移した。ただ、イタリアの予算案を巡る欧州連合(EU)との対立などが度々話題に上る中で、個人投資家の心理はユーロ弱気・円強気に傾いて行ったと推測される。
※過去のユーロ/円予想DIの推移はP7-8に掲載。



問4: 今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が28.6%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は38.5%であった。この結果「豪ドル/円予想DI」は▼9.9%ポイントとなり、こちらも3カ月連続のマイナスDIとなった。調査期間内には、上海株が約4年ぶりの安値に沈んだ他、中国7-9月期国内総生産(GDP)が予想を下回るなど、中国経済の先行きに対する不安が広がった。それとともに、主要国の株式市場が不安定化した事もあって、個人投資家の豪ドル/円相場の見通しは弱気に傾いたままだったと考えられる。
※過去の豪ドル/円予想DIの推移はP7-8に掲載。



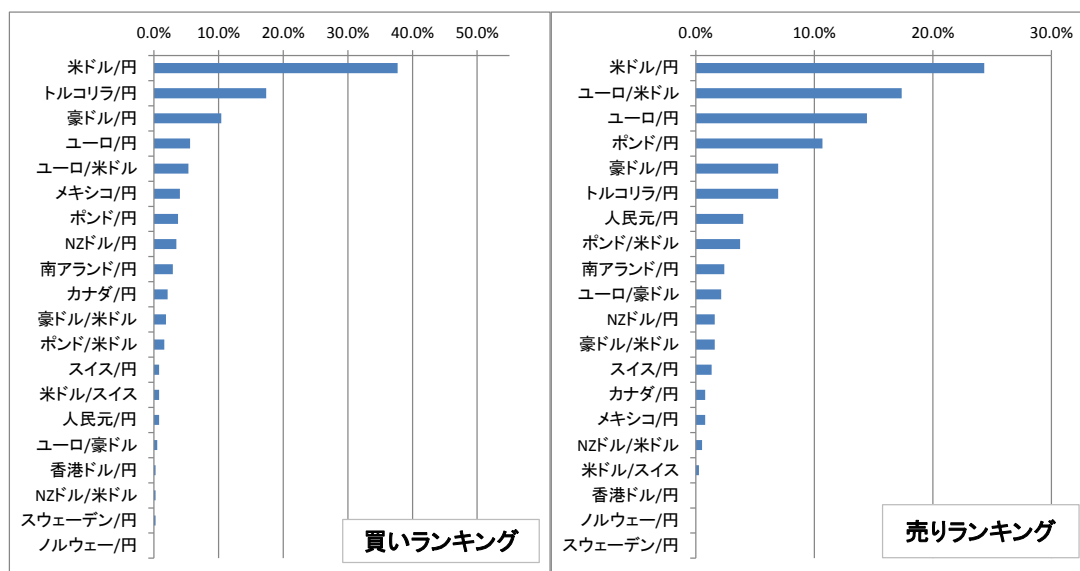
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が37.7%の回答割合を集めて首位をキープした。以下、2位がトルコリラ/円(17.4%)、3位に豪ドル/円(10.4%)、4位ユーロ/円(5.6%)、5位ユーロ/米ドル(5.3%)の順に続いた。米ドル/円は73カ月連続で首位の座をキープした。それ以上に、前回3位に後退していたトルコリラ/円が2位に返り咲いたのが印象的だ。調査期間中には、トルコリラ/円相場が8月の「トルコ・ショック」による下げを全て取り戻して20円台を回復する場面もあった。トルコの裁判所が、米国との対立要因となっていた米国人牧師を解放するとの判断を下した事などから、個人投資家の買い意欲が復活した可能性が窺える。

一方、「売り」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が24.3%の回答割合で24カ月連続でトップを維持。続いて2位がユーロ/ドル(17.4%)、3位ユーロ/円(14.4%)、4位ポンド/円(10.7%)、5位豪ドル/円(7.0%)の順に続いた。英国の欧州連合(EU)離脱=Brexitに関する協議が難航する中で、ポンド/円が前回の6位(6.7%)から4位に順位を上げた一方、トルコ・米国間の緊張緩和などを背景に、前回4位(12.8%)だったトルコリラ/円は6位(7.0%)に後退した。

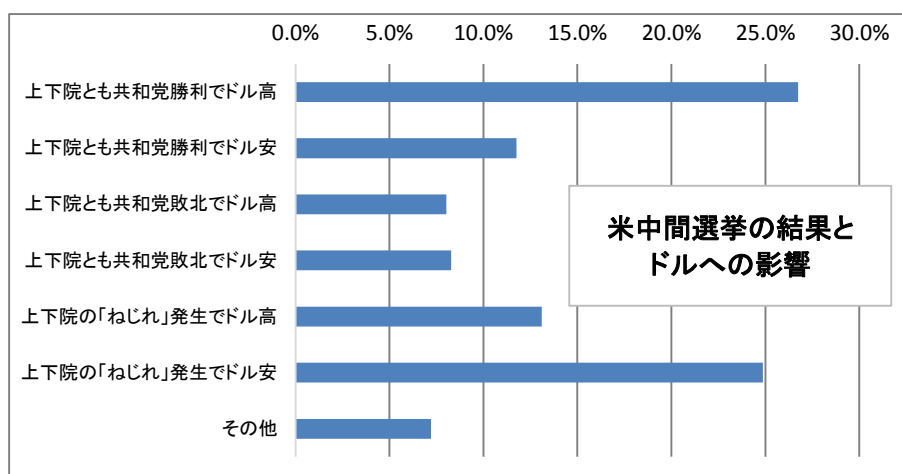


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問6:「米国の中間選挙が11月6日に行われますが、選挙の結果とドルへの影響についてどのように予想していますか？」

今回の特別質問として、「米国の中間選挙が11月6日に行われますが、選挙の結果とドルへの影響についてどのように予想していますか？(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「上下院とも共和党勝利でドル高」が26.7%で最も多く、「上下院の『ねじれ』発生でドル安」が24.9%と僅差で続いた。以下、「上下院の『ねじれ』発生でドル高(13.1%)」、「上下院とも共和党勝利でドル安(11.8%)」、「上下院とも共和党敗北でドル安(8.3%)」、「上下院とも共和党敗北でドル高(8.0%)」、「わからない(7.2%)」の順になった。各種世論調査によると、上院は共和党、下院は民主党が優勢と伝えられているが、個人投資家の見立てでは共和党の両院勝利を予想する合算割合が38.5%となり、上下院で「ねじれ」を予想する合算割合の38.0%を僅かだが上回った。一方で、上下院ともに共和党が敗北(民主党が勝利)するとの予想は合算で16.3%にとどまっており、このシナリオは実現性が低いと見ている事もわかった。また、そうした選挙結果が米ドル相場に与える影響については、共和党の両院勝利ならドル高の予想が多く、ねじれ発生ならドル安を予想する声が多かった。「上下院とも共和党勝利でドル安」や「上下院の『ねじれ』発生でドル高」との見方は少数派であった。そうした少数派からは、そう考える理由として「共和党が上下院を支配すると見るが、トランプ大統領がFRB批判などでドル高是正に動く」との指摘や、「ねじれは短期的にドル売り材料かも知れないが、トランプ大統領の暴走が抑制される事で逆にドル高が進むと予想する」との声が上がっていた。

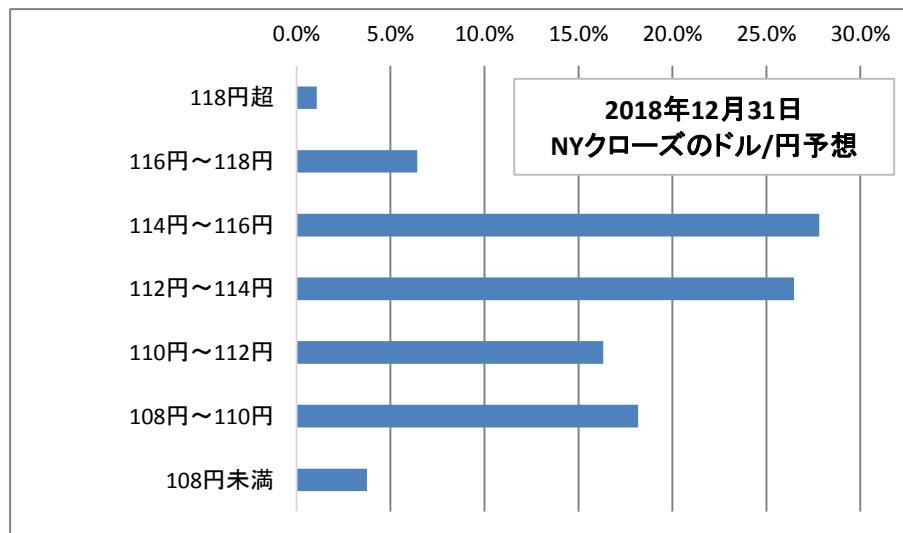


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問6: 2018年12月31日ニューヨーククローズ時点のドル/円の予想レートをお答えください(ひとつだけ)

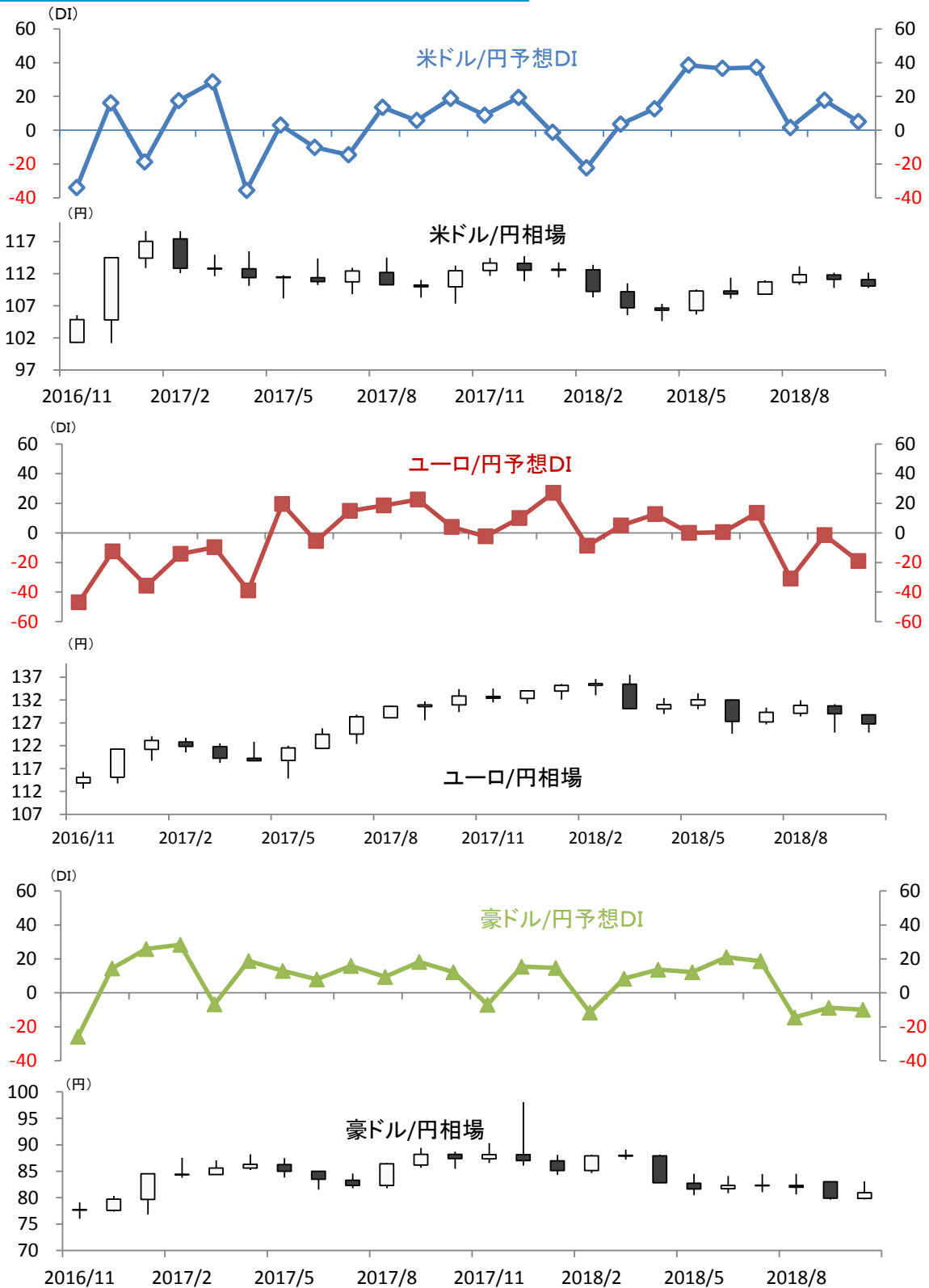
今回のもうひとつの特別質問として、「2018年12月31日ニューヨーククローズ時点のドル/円の予想レートをお答えください(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「114円～116円」が27.8%と最も多く、「112円～114円(26.5%)」と続き、以下は「108円～110円(18.2%)」、「110円～112円(16.3%)」、「116円～118円(6.4%)」、「108円未満(3.7%)」、「118円超(1.1%)」という結果になった。調査期間中に概ね112円台で推移していた事から考えると、年末に向けて米ドル/円相場が上昇すると見ている向きが多いと考えられる。ただ、「114円～116円」に比べると、「116円～118円」の予想が大幅に少ない点が非常に興味深い。これは個人投資家が潜在的に「115円の壁」を意識しているためと見られ、「上がっても115円まで」と考える向きが少なくないものと推測される。同様の視点から「110円の壁」がほとんど意識されていない点とは対照的だ。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【付表:主要3通貨ペア予想DIと足の推移】



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第113回目となりました。調査開始から9年以上が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めていきたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年中央以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

		米ドル/円			ユーロ/円			豪ドル/円		
		米ドル高	米ドル安	DI	ユーロ高	ユーロ安	DI	豪ドル高	豪ドル安	DI
2016年	11月	65.9	19.9	46.0	38.7	24.8	13.9	47.0	21.2	25.8
	12月	64.4	20.2	44.2	36.6	28.3	8.3	50.0	21.6	28.4
2017年	1月	35.2	54.0	-18.8	18.3	54.1	-35.8	28.9	35.5	-6.6
	2月	46.2	28.7	17.5	23.8	38.1	-14.3	41.9	23.1	18.8
	3月	53.3	24.7	28.6	27.6	37.4	-9.8	36.1	23.1	13.0
	4月	21.6	51.7	-35.5	17.7	56.6	-38.9	19.6	46.4	-26.8
	5月	38.4	35.3	3.1	45.9	26.5	19.4	34.9	27.0	7.9
	6月	33.3	43.4	-10.1	31.5	37.1	-5.6	33.7	25.7	8.0
	7月	30.7	45.2	-14.5	42.4	27.6	14.8	42.8	26.9	15.9
	8月	45.5	32.0	13.5	43.8	25.3	18.5	37.3	27.9	9.4
	9月	40.8	35.0	5.8	44.4	22.0	22.4	40.9	22.7	18.2
	10月	48.2	29.4	18.8	35.5	31.5	4.0	37.9	25.6	12.3
	11月	40.0	31.1	8.9	29.0	31.4	-2.4	26.9	33.8	-6.9
	12月	45.5	26.1	19.4	35.0	25.0	10.0	38.0	22.6	15.4
2018年	1月	38.0	39.2	-1.2	48.2	21.3	26.9	37.3	22.6	14.7
	2月	29.1	51.4	-22.3	30.1	38.9	-8.8	28.4	39.9	-11.5
	3月	39.6	36.0	3.6	34.0	29.0	5.0	38.6	30.2	8.4
	4月	42.8	30.1	12.7	37.9	25.3	12.6	39.0	25.3	13.7
	5月	57.4	18.9	38.5	30.3	30.3	0.0	34.9	22.6	12.3
	6月	55.5	18.9	36.6	33.0	32.5	0.5	39.5	18.4	21.1
	7月	58.1	20.9	37.2	37.9	24.3	13.5	40.3	21.6	18.7
	8月	37.3	35.7	1.6	22.1	53.1	-31.0	27.4	41.9	-14.5
	9月	42.6	24.8	17.8	30.4	31.9	-1.5	29.7	38.4	-8.7
	10月	40.4	35.3	5.1	24.3	43.3	-19.0	28.6	38.5	-9.9

(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com